



貧困をなくそう

子ども食堂への寄附・参加などをしよう

スタッフとして
運営に参加
するのもSDGs!



子ども食堂は、子どもが一人でも行くことができる無料又は低額の食堂で、家庭で十分に食事をとれない子どもへの食事の提供や孤立防止、さらには、食育や地域交流等の役割も期待されています。

2019年の愛知県の子どもの貧困率(中間的な所得の半分に満たない家庭で暮らす子どもの割合)は5.9%。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、生活の困難さを支える場や地域における居場所として、子ども食堂に対するニーズが高まっています。

子ども食堂の開設・運営には、資金やスタッフ、食材などが必要です。愛知県では、子どもの貧困対策への寄附の受け皿として「子どもが輝く未来基金」を創設し、子ども食堂への支援等を行っています。基金への寄附や食材の寄附により、子ども食堂を応援しましょう。



困っている人たちのために、ポイントを寄附しよう

1ポイント=1円から
寄附ができます。



ポイントカードやクレジットカードのポイントには有効期限があって、使わずに消滅してしまうこともありますよね。消えてしまうポイントを困っている人たちのために寄附することもSDGsの取組の一つです。

寄附のプログラムを設けているポイントカード等のWebサイトの「寄附」「募金」などのメニューから寄附ができます。集まった寄附は、カードの運営会社から飢餓対策や海外難民支援を行う団体等へ寄附されます。

例えば、約500円の寄附で子どもを寒さから守る大きめの毛布1枚を支援物資として届けることができます。



その他の取組

- フードバンク・フードドライブへの寄附をしよう
- フェアトレード商品を購入しよう

特定非営利活動法人アイキャン 庭田 美環さん

フィリピンにおいて、児童養護施設の運営や路上生活を余儀なくされている青少年に対する職業訓練など、子どもの保護活動に取り組んでいます。私たちのような活動を行う団体にとって、皆さんからの寄附は大きな力となっています。お金の寄附だけでなく、書き損じハガキや未使用切手など、手軽にできる寄附もあります。特にポイントの寄附は、カード会社にもよりますが、1ポイントからできるものもあります。例えば、使い道がない5ポイントしか寄附できなくても、100人集まれば500円になります。一つひとつは小さくても、みんなが集まれば大きな力になります。一人ひとりのできることを持ち寄って、良い世界をつくっていきましょう。

